

コロナ禍を乗り越え
明るく未来へ



桶川市長
小野克典

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が、市民の皆様の生活や地域経済にも大きな影響を及ぼした一年でした。市では、感染拡大状況にに応じた「新型コロナ対策支援パッケージ（第1弾、第3弾）」を実施し、市民の皆様の生活支援と地域経済の活性化を図るとともに、事業者支援や感染防止対策に鋭意取り組んでまいりました。

また、コロナ対策と合わせてこれまで取り組んできた駅

新たな発展へと
繋げる年に



桶川市議会議員
糸井政樹

明けましておめでとうございます。

昨年、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症への対応は、更に長期間に渡ること覚悟しなければならぬ状況ではありますが、世界中でワクチンの開発が進むなど、明るい兆しも感じられます。まさに全人類の英知が試されているようにも思います。

将来の世界史の教科書には、大転換期と記されると思われる今回の新型コロナウイルスの蔓延で、私たちの働き方や生活様式は変化しています。東京一極集中から企業の地方移転やテレワーク、サテライトオフィス、遠隔授業や遠

東口整備や道の駅整備、企業誘致など、未来に向けたまちづくり事業を、現在着々と進めております。今年は、いよいよ、加納原地区の企業誘致事業で操業が開始される予定で、安定財源の確保や雇用の創出、定住促進等の効果が期待され、持続可能なまちづくりに向けた歩みが、更に前進することになります。

人間は、お互いの繋がりがや触れ合いを通して、生きがいや喜びを感じる社会的存在と言われていると思いますが、コロナ禍で派生した「ソーシャルディスタンス」、「オンライン」、「リモート」という言葉に象徴されるように、人と人の接触や移動が制限され、これまで当たり前に出ていたことが出来なくなるなど、新型コロナウイルスは人々の価値観や生活の在り方を大きく変えました。

この度のコロナ禍により、先の予測が難しい不確実性の時代を迎え、これまでにない速さで変化する社会の流れや多様化する市民ニーズを的確にとらえ、柔軟に対応することが、行政にもより一層求められております。行政の変革は一気呵成に進まない部分もございますが、今後、AI技術やIoTの導入・活用など、自治体業務のデジタルシフト

隔医療といった働き方や暮らし方の変化により、今日まで住宅都市として発展してきた本市を取り巻く環境は、市民ニーズも含め、大きく変わっていくものと考えます。

感染拡大防止策と地域経済の回復の両立という難しい局面を迎えておりますが、経済活動を維持していく新しい日常の定着に向け、市議会としても様々な方策を行政に提案し、協力して市民の皆様が安心安全に生活できますように、今後とも取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

さて、今年放映されるNHKの新しい大河ドラマの主人公は、埼玉出身の偉人・渋沢栄一です。渋沢栄一は、2024年の上半期に一新される紙幣の一万円札の肖像画にも選ばれています。彼は、産業の育成と多くの近代企業の確立に努め、第一国立銀行（現みずほ銀行）をはじめ、設立に携わった企業は500社余りもあり、近代日本経済の父と呼ばれています。

また今年は、埼玉県の誕生から150周年の節目の年でもあり、県主催のイベント等も予定されています。昨年から延期となった桶川市制施行50周年記念式典等の記念事業など

トを加速させ、様々なリスクに対して柔軟かつしなやかに対応できる行政運営を進めてまいります。

そして、未来社会の姿である「Society5.0（※）」や、持続可能な社会の実現に向けた「SDGs（※）」の取り組みを進めるとともに、アフターコロナ、更には50年、100年先の未来に向けた「夢と希望あふれるまちづくり」を進めてまいります。

結びに、一日も早いコロナ禍の終息を願うとともに、本年が皆様にとりまして、良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

※Society(サティ)5.0
狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ「第5次社会」のこと。IoTにより、サイバー（仮想の）空間とフィジカル（現実の）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※SDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標
世界全体が持続して発展するために、2015年9月の国連サミットで採択された17の開発目標。

も予定されていますので、改めて地元の魅力を見つめ直し、郷土を知る機会とされては、いかがでしょうか。

今年の干支は丑です。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれる酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表すと言われているようです。今年は、子年にまいた種が芽を出す時期、そして結果につながるように地に足をつけてコツコツ着実に積み上げていく時期であると思います。

地道に、マスクの着用・うがい・手洗い・社会的距離（ソーシャルディスタンス）を保つなどの新しい日常を続けることで、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、新たな発展へと繋げる年としていきたいと思います。

年頭に当たり、市民の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

PCR検査などの費用を
一部助成します



詳しくは☎健康増進課☎786-1855

市では、65歳以上の人または基礎疾患のある人が行政検査以外の検査を受けた場合（発熱などの症状がなく、本人の希望で受けた場合）、検査費用の一部を助成します。

助成対象検査▶PCR検査または抗原定量検査
で、保険適用外の検査

対象者▶

- ・65歳以上の人
- ・基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患）のある人

助成回数▶一人1回

助成額▶

P C R 検査→検査費用から5,000円を差し引いた額（上限2万円）

抗原定量検査→検査費用から3,000円を差し引いた額（上限7,500円）



例検査費用が35,000円の場合、自己負担額は、15,000円になります。（PCR検査の場合）

助成実施期間▶1月12日(火)～3月末

申請方法▶

①桶川市の医療機関で受ける場合

- ・健康増進課へ事前申請してから検査を受けてください。
- ・検査当日は、自己負担額を支払い、終了となります。

②市外の医療機関で受けた場合

- ・検査終了後、健康増進課へ補助金の申請をしてください。
- ・申請時の持ち物：保険証、領収書（検査した人、検査内容がわかるもの）、検査結果、通帳など（振込口座がわかるもの）、認印

検査実施医療機関▶

健康増進課へ問い合わせください。

発熱などの症状がある場合の受診方法

詳しくは☎健康増進課☎786-1855

発熱などの症状がある場合は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方の診療・検査に対応できる「埼玉県指定診療・検査医療機関」に受診しましょう。

受診する際は、受付時間などを確認し、必ず事前に予約してから受診してください。

市内の指定診療・検査医療機関

医療機関名	電話番号
いけだファミリークリニック桶川	788-1167
桶川中央クリニック	786-6628
桶川西口クリニック	789-5777
栗原クリニック	786-2168
鈴木内科医院	787-3000
ベニバナファミリークリニック	787-0002
渡辺医院	787-2181

医療機関名	電話番号
埼玉県中央病院＊2	776-0022
ゆげクリニック＊2	777-3000
朝日内科歯科医院＊1	774-9385
小島医院＊1	771-1212
豊田医院＊1	728-2377
川田谷クリニック＊1＊2	787-2531

＊1 かかりつけ患者のみ受診可能
＊2 小児は受診不可

ホームページが見られない場合

「埼玉県診療・相談センター」
☎048-762-8026
FAX 048-816-5801
(月～土 午前9時～午後5時30分)

「県民サポートセンター」
☎0570-783-770
FAX 048-830-4808
(24時間・土日祝日も受付)

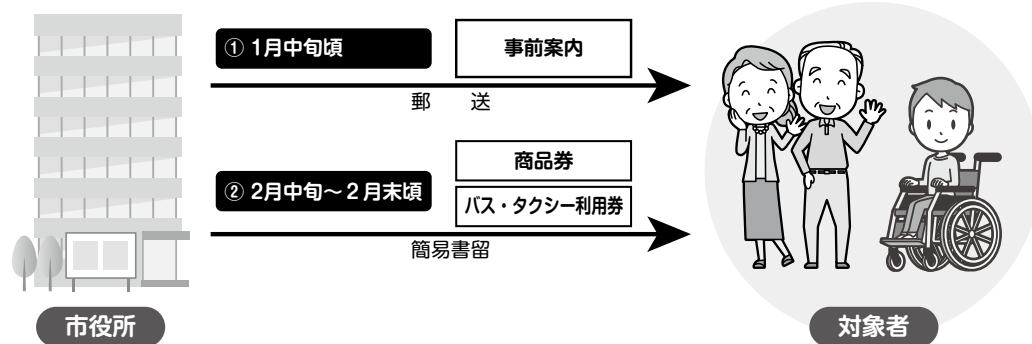
市外の「埼玉県指定診療・検査医療機関」は県ホームページで確認してください。



高齢者と障害児・者に「商品券」と「バス・タクシー利用券」を交付します

詳しくは☎高齢者について 高齢介護課 ☎788-4938
障害者について 障害福祉課 ☎788-4936
障害児について 子ども未来課☎788-4946

市では、新型コロナウイルス感染症により特に外出自粛をしていた高齢者、障害児・者の買い物支援を図るとともに、市内経済の活性化および公共交通機関の利用促進を目的として「商品券」「バス・タクシー利用券」を交付します。なお、申請の必要はありません。



【対象者】

令和3年1月1日現在、桶川市に住民登録があり、配布決定日において住民登録がある以下の人。

- (1)高齢者（75歳以上）
令和2年度において75歳以上になる人（昭和21年4月1日までに生まれた人）
- (2)障害者（75歳以上は除く）
令和3年1月1日までの手帳交付者（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳）
- (3)障害児（18歳未満）
①手帳交付者は、(2)の障害者と同様
②令和3年1月1日までの障害児サービス対象者

【交付額】

- (1)「コロナに勝つ！桶川市地域応援商品券」
3,000円分
（共通券1,500円分、専用券1,500円分）
- (2)「バス・タクシー利用券」3,000円分

【交付方法】

※申請の必要はありません。

対象者に直接、事前案内通知をした後、「簡易書留」により順次郵送します。

【利用期間】

到着後から8月31日(火)まで。

【商品券利用可能店舗】

「コロナに勝つ！桶川市地域応援商品券」と同様です。

【バス・タクシー利用券の利用可能会社および路線】
市内循環バス「べにばなGO」、市内に乗り入れをしている路線バス、市内を営業区域としているタクシー、市内介護タクシーを予定しています。

コロナに勝つ！桶川市地域応援商品券を発行します (プレミアム付商品券)

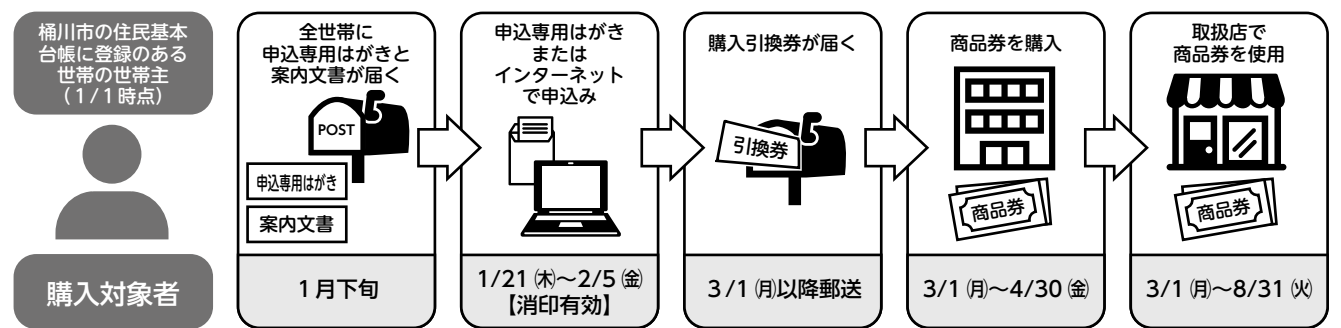
プレミアム率
40%

詳しくは☎企画調整課☎788-4903



市では、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている市民の日常生活を支援するとともに、市民の消費喚起を促進し、市内経済の活性化を図ることを目的として「コロナに勝つ！桶川市地域応援商品券」を発行します。

＜商品券購入までの流れ＞



購入対象者	1月1日時点において桶川市の住民基本台帳に登録のある世帯の世帯主	
販売額	1冊5,000円（500円×14枚綴り 7,000円分、プレミアム率40%）	
商品券の内訳	共通券（取扱店すべてで利用可能）	10枚 5,000円分
	専用券（取扱店のうち、桶川市商工会加盟店のみ利用可能）	4枚 2,000円分
発行冊数	66,000冊（発行総額462,000,000円）	
申込方法	「申込専用はがき」または「インターネット」で受付 1月下旬に申込専用はがきと案内文書を世帯主宛てに郵送します。 ※申込みは、世帯単位となります（先着順ではありません）。 ※応募者多数の際は、購入冊数を制限する場合があります。	
購入上限	1世帯10冊まで（購入額50,000円・利用額70,000円分まで）	
購入申込期間	申込専用はがき	1月21日(木)～2月5日(金)【消印有効】
	インターネット	1月21日(木)～2月7日(日)※申し込みサイトのURLは、案内文書に同封します。
販売期間	3月1日(月)～4月30日(金)	
商品券の販売	窓口による現金販売 販売所は市内複数か所を予定しています。詳しくは、市ホームページまたは1月下旬に郵送する案内文書をご確認ください。 ※申込者宛てに3月1日(月)以降に郵送する「購入引換券」と、「本人確認書類（運転免許証など）」を持参してください。 ※代理の人が購入する場合は、購入引換券（委任に関する必要事項を記入したもの）と、代理の人の本人確認書類を持参してください。	
利用期間	3月1日(月)～8月31日(火)	
利用可能店舗	市内または市内近郊の店舗 詳しくは、市ホームページまたは1月下旬に郵送する案内文書をご確認ください。	



※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、日程などが変更となる場合があります。

桶川市地域応援商品券、高齢者・障害者買い物支援事業コールセンター

「桶川市地域応援商品券（プレミアム付商品券）」や「バス・タクシー利用券」についてご不明な点がございましたら、コールセンターへお問い合わせください。

電話番号▶050-3189-0118

受付期間▶1月18日(月)～4月30日(金)（土・日・祝日を除く）

受付時間▶午前9時～午後5時

※別途通話料がかかります。

※繁忙時には電話がつながりにくくなる場合があります。

